

図書館だより



No.196

2015(平成27)年9月10日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fks.ed.jp/>



◆ 企画展示のお知らせ ◆ 場所：展示コーナー

～浜通りの記録をたどる資料展～ 9月4日(金)～9月30日(水)

浜通りの文化遺産は、東日本大震災や原発事故の影響により大きな被害を受けました。県民が地域に根ざした貴重な文化や伝統に目を向け、郷土愛と復興への思いを深める契機となることを期し、震災から4年半が経過した今、当館で所蔵している震災前の浜通りの記録が描かれた資料を展示します。



【福島県歴史資料館移動展】花と温泉 10月2日(金)～11月4日(水)

福島県歴史資料館の協力を受け、福島県歴史資料館の収蔵資料展「花と温泉」で展示されたものの一部をお借りして展示します。また、10月18日(日)には「史料にみるふくしまの温泉」と題し、福島県歴史資料館の学芸員を迎え、ふくしまの魅力の一つである「温泉」について、古文書や絵図などの史料を通して、その歴史と文化について紹介していただきます。

◆ 秋のイベント ※いずれも入場無料・事前申し込み不要です。

☆文化講演会「図書館は、国境をこえる ～カンボジアから東北へ～」

場所：A・O・Z(アオウゼ)多目的ホール

日時：9月25日(金)14:00～15:30

講師：鎌倉 幸子 さん

(シャンティ国際ボランティア会広報課長兼
東日本大震災図書館事業アドバイザー)

☆「親子ふれあい読書フェスティバル(本はともだち)」

場所：会津若松市生涯学習総合センター会津稽古堂

日時：11月3日(火)13:00～15:30

浦安市教育委員会の伊藤明美さんを招き、講演会やおはなし
かいを開催します。

☆赤ちゃんと保護者のための「ちいさなおはなしかい」

①9月10日(木) ②10月8日(木) 場所：こどものへや

★秋の夜長を図書館で … 10月31日(土)、県立図書館は21時まで開館します。併せて、「語りを楽しむ
タペ」や「バックヤードツアー(一般対象)」等を実施しますので、どうぞご参加ください。

◆ 各種展示 ◆

【ロビー展示】

軽読書コーナー横の通路で展示中!

■福島南高校美術部「海柘榴展」Re

開催期間：9月4日(金)～9月30日(水)

美術作品(絵画・グラフィックデザイン・写真など)
の展示を行います。

■横井薫 エンピツ画ミニ展

開催期間：10月2日(金)～11月5日(水)

【時事展示コーナー】9月4日(金)～11月4日(水)

○「食と健康を考える」

世界の料理や健康食など、100冊の本を一挙展示します!

【各種ミニ展示】9月4日(金)～9月30日(水)

○「かぞく」に関する絵本展示(こどものへや絵本コーナー)

○「そうだ 旅行をしよう」(軽読書コーナー)

○「地域の福祉を考える」(調査相談カウンター近く)

○企画展示「浜通りの記録をたどる資料展」関連図書展示 (展示コーナー脇)

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『水族館発!みんなが知りたい釣り魚の生態 釣りのヒントは水族館にあった!?!』海野 徹也/編著
成山堂書店 2015.5 787.1/ウテ 155/

水族館で釣りについて考えるのは、何だかイケナイ事だと思っていました。しかし、水族館職員にはアングラー(釣り師)の方も多くいらっしゃるようです。本書では、全国の水族館のアングラー職員達が、得意分野からとっておきの知識を披露しています。長年魚を観察し続けたプロだからこそわかる、どの様な餌をよく食べ、いつ活発に動き、どうすれば警戒されないのか等が魚の生態から詳しく解説されています。水槽で釣りをする事がある等意外な水族館情報も載っており、アングラーに限らずおすすめの一冊です。

『訪日外国人観光ビジネス入門講座』

村山慶輔/著 翔泳社 2015.3 689.21/ム 152/

福島ディスティネーションキャンペーン中も注目された、訪日外国人観光(インバウンド)ビジネスの入門書。日本でどんな観光をしたいかなど各国の外国人観光客の特徴を分析した上で、どうすれば効果的に集客できるか、どんなおもてなしができるかをわかりやすく解説します。

『建築と権力のダイナミズム』御厨貴・井上章一/編
岩波書店 2015.3 312.1/シ 153

—建築とは視覚化された権力なのだ(p206 より)—
本書は「建築と政治」をテーマとした、10人の筆者による論文集です。国会議事堂や庁舎などまさに「政治の場」と呼べる建築物の分析から、半ば公的・半ば私的と言える権力者の邸宅、さらに「建物」という枠を広げた都市空間、そしてより抽象的な「意味空間」へと、思索の場が広がって行く構成となっています。「建築と政治」というテーマは、今まで取り組まれてこなかった新しい研究分野だそうです。周りの「建築」を「視覚化された権力」と捉えた時、きっと私たちも新しい世界の見方を発見できるはずです。

児童・児童図書研究

『絵本の絵を読み解く』杉浦範茂/著・ブックデザイン読書サポート 2015.4 J726.6/ス

絵本作家であり、様々な児童書の挿絵やブックデザインを手掛けてきた著者が、絵本の“絵”を独自の視点で読み解きます。『ぐるんぱのようちえん』、『はらぺこあおむし』など国内外の名作絵本 24冊を解説。『スーホの白い馬』の大胆な構図に隠された秘密や『はじめてのおつかい』に散りばめられた遊び心など…じっくり絵を見ながら、絵本を改めて読みなおしたくなります。文章を追いながら読み聞かせている大人よりも、子どもの方が絵からのメッセージを多く受け取っているかもしれません。子どもの目線になって読むことで新しい発見ができるでしょう。そんな絵本の楽しみ方を教えてくれる一冊です。

雑誌・新聞

2015年8月15日に戦後70年目の終戦記念日を迎え、さまざまな形で戦中・戦後の記憶が伝えられました。当館におきましても戦後70年の企画展示を行いました。新着の各雑誌に関連の特集が組まれていますので、加えてご紹介します。

*戦後70年「戦」の「後」でありつづけるために

『世界』2015年9月号 Z/051/S1

*終戦70年、日本人へ

『正論』2015年9月号 Z/051/S30

*戦後70年 日本を問い直す

『中央公論』2015年9月号 Z/051/C1

*戦後七十年 平和の指標

『潮』2015年9月号 Z/051/U1

*絵描きと戦争

『美術手帖』2015年9月号 Z/705/B1

*想起の文化 戦争の記憶を問い直す

『思想』2015年8月号 Z/051/S9

*太平洋戦争1347日の激闘

日本人はいかに戦ったか

『歴史読本』2015年8月号 Z/210.05/R4

*戦後70年、痛みのアカイヴ

いまを生きるために

『現代詩手帖』2015年8月号 Z/911.5/G15

地域

「古文書にみる会津藩の食文化」平出美穂子/著
歴史春秋社 2014.1 L383.8/H4/1

古文書や古い史料をもとに会津の食についてまとめられた本書。幅広い食文化が豊富な図表とともに紹介されています。再現された料理の写真は必見。松平容保の京都守護職就任祝い膳など、時代背景の解説とあいまって、藩政時代の会津がすっかり近く感じられることでしょう。知識欲と食欲が満たされる1冊です。鳥取県の書店や図書館らでつくる実行委員会主催の第28回地方出版文化功労賞奨励賞を今年8月に受賞したばかり。

「会津物語」赤坂憲雄+会津学研究会/編著

朝日新聞出版 2015.8 L382/A13/1

会津学研究会のメンバーが「不思議な話を集めてみよう」と実在の人々を訪ね、本当にあった「事実譚(たん)」を集めた会津版『遠野物語』。

2011年8月から3年間『朝日新聞』の福島県版に連載され、親や祖父母から言い聞かされた話・困ったときにすぎる話・生死の境の話など会津の風土が沁みこんだ百個のお話です。「こんな話でいいのがよ？」と恐縮しながらぼそぼそと語る人々の姿が浮かんできます。

後見返しに使用されている『会津道中記細見図』は当館所蔵。